

平成28年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	T2K 実験の高度化によるニュートリノの CP 対称性の測定
研究代表者	小林 隆
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、素粒子研究の主要なテーマである「レプトンの CP 対称性の破れ」を解明する緊急度の高い重要なものであると同時に、国際的にも日本が高いイニシアチブを有する研究領域である。本研究の独創性・重要性や、十分に練られた研究計画に加えて、応募者らは、加速器を用いたニュートリノ研究で、これまで国際的にも高い評価を受けており、優れた研究成果が期待できる。</p> <p>米国との国際競争に勝つための緊急性も高く、これらの理由により、特別推進研究として推進することが適当と考えられた。</p>